

EkeCite - エクサイト - 鉄骨汎用CAD

鉄骨マスタマニュアル

Ver. 3.52

鉄骨マスタ / 目 次

第 1 章 鉄骨マスタ概要

鉄骨マスタ概要	3
---------------	---

第 2 章 コマンドリファレンス

[鉄骨マスタ] 鋼材マスタ保守	5
[鉄骨マスタ] 継手マスタ保守	7
[鉄骨マスタ] ホルト図形マスタ保守	10
[鉄骨マスタ] 鉄骨マスタ管理	14

第 3 章 メッセージ一覧

鉄骨マスタ	17
-------------	----



第 1 章 鉄骨マスタ概要

鉄骨マスタ概要

マスタの種類 鉄骨マスタとは次のファイルの総称です。

マスタ分類	マスタ種類	ファイル名	内 容
鋼材マスタ	鋼材マスタ	ZQZMST. IRM	鋼材寸法のマスタ。
継手マスタ	継手マスタ	ZQZMJO. IRM	継手のマスタ。
ボルトマスタ	ボルト図形マスタ	ZQZMBS. IRM	ボルト図形のマスタ。
	ボルト配置マスタ	ZQZMBP. IRM	ボルト配置のマスタ。[型作成]アプリの[ガセツ型紙]のみで使用する。

ボルト図形マスタとボルト配置マスタを合わせてボルトマスタと呼びます。ボルト配置マスタは[型作成]アプリの[ガセツ型紙]コマンドのみで使用します。ボルト配置マスタを保守するコマンドはなく、[ガセツ型紙]コマンドでボルト配置を登録・参照することができるだけです。

マスタの場所 鉄骨マスタは基本的には「共通マスタ」呼ばれるシステムで決まった所定の位置へインストールします。ボルトマスタ(ボルト図形マスタとボルト配置マスタ)はこの「共通マスタ」しか使用することができませんが、鋼材マスタと継手マスタは他の場所へ複写し、例えば工事ごとのマスタとして使用することができます。

マスタの場所を指定する方法には次の3通りがありいつでも場所を変更することができます。

共通マスタ	共通マスタの場所を指定します。
図面を開いた場所	[ファイル 図面を開く]などで指定した図面の場所を指定します。この指定にしておく、図面を開く場所を変更するとマスタの場所も変わります。
その他の場所	任意の場所を指定します。

但し、鋼材マスタと継手マスタの場所を別々に指定することはできません。鋼材マスタの場所を変更すれば継手マスタの場所も変わり、反対に継手マスタの場所を変更すれば鋼材マスタの場所も変わります。

マスタの管理 鉄骨マスタは[ファイル管理|ファイル管理]コマンドで複写したり削除することができますが、これらの目

鉄骨マスタ

的のために[鉄骨マスタ管理]というコマンドが用意されています。第2章を参照してください。

第2章 コマンドリファレンス

鋼材マスタ保守

鉄骨マスタ

鋼材マスタの保守(追加・更新・削除)を行います。

シーケンスはありません。コマンドを選択すると[鋼材マスタ保守]ダイアログが開きます。

[鋼材マスタ保守]ダイアログ

[マスタの場所:]で保守するマスタの場所を指定し[鋼材の種類:]で鋼材の種類を指定すると、[部材一覧:]に登録されている部材の一覧が表示されます。[部材データ]には[部材一覧:]で選択されている部材データが表示されます。[操作]でマスタの保守操作を選択して[部材データ]の中で登録や削除を行います。

マスタの場所: 保守するマスタの場所が表示されます。この欄をダブルクリックするか右側の[...]をクリックすると[マスタの場所]ダイアログが開いてマスタの場所を変更することができます。[マスタの場所]ダイアログを参照してください。マスタの場所を変更すると[操作]は[参照]になります。

鋼材の種類: 鋼材の種類と見取図が表示されます。この欄をクリックすると鋼材の種類の一覧が表示されますので、その中で保守する鋼材の種類を選択することができます。鋼材の種類を変更すると[操作]は[参照]になります。

部材一覧: [マスタの場所:]と[鋼材の種類:]で選択されている鋼材の部材一覧が表示されます。一覧の内容は部材の接頭 寸法 接尾 です。選択している部材の詳細データが[部材データ]に表示されます。

登録状況 鋼材マスタの登録状況が表示されます。それぞれの内容は次の通りです。

最大登録数 …… 登録できる最大部材数です。

登録可能数 …… 登録できる部材数(最大登録数 - 登録済合計)です。

登録済合計 …… 登録されている部材の合計(以下の各鋼材の登録数の合計)です。

H型鋼: ~ …… 各鋼材の登録されている部材数です。

操作 マスタのデータを保守する操作を選択します。この選択によって[部材データ]の操作が変わります。[マスタの場所:]または[鋼材の種類:]を変更すると[参照]になります。保守操作の内容と操作方法は次の通りです。

参照 …… [部材データ]に[部材一覧:]で選択している部材の詳細を表示します。

鉄骨マスタ

- 新規 …… 新しい部材を作成します。[部材データ]に作成する部材データを入力して[登録]をクリックしてください。
- 更新 …… [部材一覧:]で選択している部材の内容を変更します。[部材データ]に[部材一覧:]で選択されている部材データが表示されますので変更を入力して[更新]をクリックしてください。
- 削除 …… [部材一覧:]で選択している部材を削除します。[部材データ]に[部材一覧:]で選択されている部材データが表示されますので削除するなら[削除]をクリックしてください。

部材データ

部材データの詳細の表示と入力を行います。部材データの構成は鋼材の種類によって変わります。詳細データの構成は次の通りです。

- : 部材名を表示します。内容を変更するとリアルタイムに更新されます。
- 接頭 : 部材名の先頭(寸法の前)に付ける文字列です。
- 接尾 : 部材名の末尾(寸法の後)に付ける文字列です。
- 寸法 : 部材の寸法です。寸法の個数は鋼材の種類によって異なります。[鋼材の種類:]の見取図を参考にしてください。この欄では寸法の区切りは空白になっています。寸法を入力する場合は区切り文字として(空白)、 $x \times y / z$ を使うことができます。
- r1 r2 : 部材のrです。rの個数は鋼材の種類によって異なります。[鋼材の種類:]の見取図を参考にしてください。
- Kg/m : 部材の単位重量です。1 m当りの重量をKgで入力してください。

[操作]によってボタンが次のように表示されます。

- 参照 …… ボタンは表示されません。
- 新規 …… 入力した部材データを登録する[登録]ボタンが表示されます。
- 更新 …… 変更した部材データを更新する[更新]ボタンが表示されます。
- 削除 …… 部材を削除する[削除]ボタンが表示されます。

[部材データ]の操作は[操作]によって変わります。[操作]を参照してください。

[閉じる] コマンドを終了します。

[マスタの場所]ダイアログ

マスタの場所を選択します。マスタの場所を指定できるのは鋼材マスタと継手マスタです。但し、それぞれ独自に場所を指定することはできません。鋼材マスタと継手マスタは常に(ここで指定する)同じ場所にあるものが対象になります。ボルトマスタは共通マスタのみです。マスタの場所として次の指定方法があります。

共通マスタ システムの所定の場所にあるマスタを指定します。

図面を開いた場所 [ファイル]図面を開く]などで指定した図面の場所を指定します。この指定にしておくと、図面を開く場所を変更するとマスタの場所も変わります。下に最後に図面を開いた場所が表示されていますので、この欄をダブルクリックするか右側の[...]をクリックして最後に図面を開いた場所をここで変更することもできます。

その他の場所 任意の場所を指定します。下に現在指定されている場所が表示されていますので、この欄をダブルクリックするか右側の[...]をクリックしてマスタの場所を指定します。

継手マスタ保守

鉄骨マスタ

継手マスタの保守(追加・更新・削除)を行います。

シーケンスはありません。コマンドを選択すると[継手マスタ保守]ダイアログが開きます。

[継手マスタ保守]には基本となるダイアログが2つあります。[継手マスタ保守]ダイアログでは登録されている継手の一覧と各継手の概略が表示され、[継手の詳細]ダイアログでは各継手の詳細データを表示します。この2つのダイアログは連動していますので同時に操作することができます。

[継手マスタ保守]ダイアログ

[マスタの場所:]で保守するマスタの場所を指定すると[継手一覧:]に登録されている継手の一覧が表示されます。[継手データ]には[継手一覧:]で選択されている継手データの概略が表示されます。[継手の詳細]をクリックすると[継手の詳細]ダイアログを表示します。実際の保守操作は[継手の詳細]ダイアログで行います。

マスタの場所: 保守するマスタの場所が表示されます。この欄をダブルクリックするか右側の[...]をクリックすると[マスタの場所]ダイアログが開いてマスタの場所を変更することができます。[鋼材マスタ保守]の[マスタの場所]ダイアログを参照してください。マスタの場所を変更すると[継手の詳細]ダイアログの[操作]は[参照]になります。

継手一覧: [マスタの場所:]で選択されている継手マスタの継手一覧が表示されます。一覧の内容は継手の種類 寸法 ボルト径 です。選択している継手の詳細データが[継手データ]と[継手の詳細]ダイアログの[継手データ]に表示されます。

登録状況 継手マスタの登録状況が表示されます。それぞれの内容は次の通りです。

最大登録数 …… 登録できる最大継手数です。

登録可能数 …… 登録できる継手数(最大登録数 - 登録済数)です。

登録済数 …… 登録されている継手数です。

継手データ [継手一覧:]で選択されている継手の概略を表示します。詳細データは[継手の詳細]ダイアログに表示されます。ここに表示されるデータは次の通りです。

継手名	
ワング表	ウエブ
ワング裏	
ワングボルト	ウエブボルト

ワング 図形

ウエブ 図形

継手名： 継手名として 種類 寸法 ボルト径 を表示します。
 フランジ表： フランジの表側プレート(枚数-板厚×縦寸法×横寸法)を表示します。
 フランジ裏： フランジの裏側プレート(枚数-板厚×縦寸法×横寸法)を表示します。
 フランジボルト： フランジのボルト(本数-径×長さ)を表示します。
 フランジ図形： フランジプレートの図形の半分を表示します。
 ウェブ： ウェブのプレート(枚数-板厚×縦寸法×横寸法)を表示します。
 ウェブボルト： ウェブのボルト(本数-径×長さ)を表示します。
 ウェブ図形： ウェブプレートの図形の半分を表示します。

[継手の詳細] [継手の詳細]ダイアログを表示します。2つのダイアログは連動していますので同時に操作することができます。

[閉じる] コマンドを終了します。

[継手の詳細]ダイアログ

継手の詳細データの表示と保守操作を行います。[継手データ]には[継手マスタの保守]ダイアログの[継手一覧:]で選択されている継手データが表示されます。[操作]でマスタの保守操作を選択して[継手データ]の中で登録や削除を行います。このダイアログは[継手マスタの保守]ダイアログと連動しています。

操作 マスタのデータを保守する操作を選択します。この選択によって[継手データ]の操作が変わります。[継手マスタの保守]ダイアログの[マスタの場所:]を変更すると[参照]になります。保守操作の内容と操作方法は次の通りです。

参照 …… [継手データ]に[継手一覧:]で選択している継手の詳細を表示します。

新規 …… 新しい継手を作成します。[継手データ]に作成する継手データを入力して[登録]をクリックしてください。

更新 …… [継手一覧:]で選択している継手の内容を変更します。[継手データ]に[部材一覧:]で選択されている継手データが表示されますので変更を入力して[更新]をクリックしてください。

削除 …… [部材一覧:]で選択している継手を削除します。[継手データ]に[部材一覧:]で選択されている継手データが表示されますので削除するなら[削除]をクリックしてください。

継手データ 継手データの詳細の表示と入力を行います。詳細データは次の通りです。

： 継手名を表示します。内容を変更するとリアルタイムに更新されます。
 種類： 継手の種類です。指定できるのは[(無)][梁][柱]のいずれかです。
 寸法： 継手を取り付ける梁/柱の寸法です。この欄では寸法の区切りは空白になっています。寸法を入力する場合は区切り文字として(空白), x X * / を使うことができます。
 ボルト径： ボルト径です。値を入力すると[フランジ]と[ウェブ]の[ボルト径]に同じ値がコピーされます。右の[]をクリックすると良く使用するボルト径の一覧が表示されますのでその中から指定することができます。

鉄骨マスタ

フランジ

- ボルト径 : ボルト径です。値を入力すると[ウェブ]の[ボルト径]に同じ値がコピーされます。
- ボルト材 : ボルト材です。指定できるのは[(無)][HBB][TC][SS]のいずれかです。値を指定すると[ウェブ]の[ボルト材]に同じ値がコピーされます。
- 板厚表 : 表側プレートの板厚です。値を入力すると[板厚裏]と[ウェブ]の[板厚]に同じ値がコピーされます。
- 板厚裏 : 裏側プレートの板厚です。
- すきま : 継手部のすきまです。値を入力すると[ウェブ]の[すきま]に同じ値がコピーされます。
- 千鳥 : ボルト列の配置方法です。指定できるのは[千鳥無][千鳥1][千鳥2]のいずれかです。[千鳥無]はボルト列は同じ位置から始まります。[千鳥1]と[千鳥2]ではボルト列の開始位置が反対になります。
- ボルト数 : 横方向のボルト数です。
- ボルト数 : 縦方向のボルト数です。
- 端部 : プレート端部から横方向のボルト端部までの距離です。表側と裏側プレートに共通です。値を入力すると[ウェブ]の[端部]に同じ値がコピーされます。
- ボルト間 : 横方向のボルト間隔です。値を入力すると[ウェブ]の[ボルト間]に同じ値がコピーされます。
- 端部表 : 表側プレートのプレート端部から縦方向のボルト端部までの距離です。値を入力すると[端部裏]と[ウェブ]の[端部]に同じ値がコピーされます。
- 端部裏 : 裏側プレートのプレート端部から縦方向のボルト端部までの距離です。
- ボルト間 : 縦方向のボルト間隔です。値を入力すると[ウェブ]の[ボルト間]に同じ値がコピーされます。
- ボルト間 : 上下のボルト間隔です。

ウェブ

- ボルト径 : ボルト径です。
- ボルト材 : ボルト材です。指定できるのは[(無)][HBB][TC][SS]のいずれかです。
- 板厚 : プレートの板厚です。
- すきま : 継手部のすきまです。
- 千鳥 : ボルト列の配置方法です。[フランジ]の[千鳥]を参照してください。
- ボルト数 : 横方向のボルト数です。
- ボルト数 : 縦方向のボルト数です。
- 端部 : プレート端部から横方向のボルト端部までの距離です。
- ボルト間 : 横方向のボルト間隔です。
- 端部 : 側プレートのプレート端部から縦方向のボルト端部までの距離です。
- ボルト間 : 縦方向のボルト間隔です。

継手の概略 : [ウェブ]の右側に継手の概略が表示されます。上がフランジ、下がウェブです。表示される内容は[継手マスタの保守]の[継手データ]と同じです。

[操作]によってボタンが次のように表示されます。

参照 …… ボタンは表示されません。

新規 …… 入力した部材データを登録する[登録]ボタンと[図形確認]ボタンが表示されます。

更新 …… 変更した部材データを更新する[更新]ボタンと[図形確認]ボタンが表示されます。

削除 …… 部材を削除する[削除]ボタンが表示されます。

[新規]または[更新]でデータを変更すると[継手の概略]は空白になりますが、[図形確認]ボタンをクリックするとその時のデータで[継手の概略]を再表示します。

[継手データ]の操作は[操作]によって変わります。[操作]を参照してください。

[閉じる] [継手の詳細]ダイアログを閉じます。

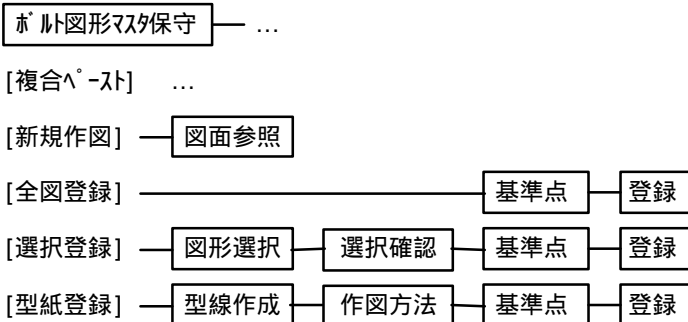
ボルト図形マスタ保守

鉄骨マスタ

ボルト図形マスタの保守(追加・更新・削除)を行います。

ボルト図形マスタは共通マスタのみで、マスタの場所を指定することはできません。

ボルト図形マスタの保守操作は部品の操作と同じです。



ボルト図形の名前について

ボルト図形の名前はボルト径にしてください。例えばM16のボルト図形の図形名は「16」です。また「0」(ゼロ)は特殊な図形名で、アプリケーションから要求されたボルト図形が登録されていない時に使用するボルト図形です。ボルト図形「0」が登録されていないと、アプリケーションから要求されたボルト図形がない場合にボルト図形は空白になります。

[ボルト図形マスタ保守]の概要

ウィンドウの上部にコマンドメニューがあり、その下によく使用するコマンドがアイコン化されています。コマンドを実行するにはメニューからコマンドを選択するか、アイコンをクリックします。登録されているボルト図形は図形の一覧または名前の一覧で表示することができます。2つの表示方法はいつでもワンタッチで切り替えることができます。図形一覧では縦と横の表示個数を変更することができ、名前一覧では名前一覧と図形表示の横幅を変更することができます。

[ボルト図形マスタ保守]のコマンドは次のように構成されています。

[ファイル] [コマンド終了]のみです。

- [作図] 登録されているボルト図形を作図します。[複合[°]-スト]コマンドと同じ操作で配置する方法と編集中の図面を初期化してボルト図形のみを作図する方法があります。
- [表示] ボルト図形の表示方法を指定します。
- [保守] ボルト図形マスタへのボルト図形の登録・削除・名前変更やボルト図形マスタの圧縮を行います。ボルト図形の登録方法には全図の登録、選択した図形の登録、型紙の登録があります。

[作図]と[保守]のボルト図形登録のコマンドにはシーケンスがありますが、他のコマンドはすべて[ボルト図形マスタ保守]ウィンドウ内で操作します。

ボルト図形マスタに登録できるボルト図形数に制限はありません。ディスクの容量が許す限りボルト図形を登録することができます。

[ファイル | コマンド 終了]

ウィンドウを閉じてコマンドを終了します。

[作図 | 複合[°]-スト]

選択しているボルト図形を[複合[°]-スト]コマンドと同じ操作方法で図面に作図します。コマンドを選択すると[[°]-スト設定]ダイアログが開き、[OK]するとボルト図形を配置する操作が始まります。ダイアログの操作と配置操作は[複合[°]-スト]コマンドを参照してください。

[作図 | 新規作図]

編集中の図面を初期化して選択しているボルト図形を作図します。編集中の図面が失われてしまいますので注意してください。

コマンドを選択すると[確認]ダイアログが開いて図面の初期化確認を行います。[OK]すると図面を初期化してボルト図形を作図し、[図面参照]シーケンスになります。このシーケンスでは新規作図した図面を参照するだけで、マウスのいずれかのボタンをクリックすると[ボルト図形マスタ保守]に戻ります。

[表示 | 図形一覧を表示する]

ボルト図形の表示方法を図形一覧にします。図形一覧では表示されている図形をダブルクリックすると[作図|複合[°]-スト]を実行します。縦と横の表示個数は[表示|表示設定]で変更することができます。

[表示 | 名前一覧を表示する]

ボルト図形の表示方法を名前一覧にします。名前一覧では左にボルト図形名の一覧が表示され、右に現在選択しているボルト図形図形が表示されます。名前一覧と図形表示の間の縦線をマウスでドラッグして横幅を変更することができます。名前一覧のボルト図形名が表示されている図形をダブルクリックすると[作図|複合[°]-スト]を実行します。

[表示 | 表示設定]

コマンドを選択すると[表示設定]ダイアログが開きますのでボルト図形の表示方法を変更します。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

図形一覧

図形一覧の表示方法を指定します。

横の表示個数：

横方向の表示個数を 1 ~ 10の範囲で指定します。

縦の表示個数：

縦方向の表示個数を 1 ~ 10の範囲で指定します。

[OK] 変更を登録します。

[キャンセル] 変更をキャンセルします。

[保守 | 登録 | 全図登録]

編集集中の図面全体をボルト図形として登録します。シーケンスは次の通りです。

基準点 ボルト図形としての基準点(通常はボルトの中心)を指示します。

登録 [登録]ダイアログが開いて図形をボルト図形として登録するための処理を行います。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

登録方法

図形を登録する方法を指定します。

新規登録

図形を新しいボルト図形として登録します。ボルト図形の名前： にボルト図形の名前を入力してください。既に登録されている名前と同じ名前を指定することはできません。

更新登録

既に登録されている図形に上書きします。更新するボルト図形： で更新するボルト図形を指定してください。ここではボルト図形の名前を変更することはできません。ボルト図形の名前を変更するには[保守|名前変更]を実行してください。

基準点にマーキング を作図する

チェックすると登録する際に基準点にマーキングを追加します。

登録するボルト図形

ボルト図形として登録される図形が表示されます。「x」は基準点を表わしています。

[OK] 図形をボルト図形として登録します。

[キャンセル] [基準点]へ戻ります。

登録すると[ボルト図形マスタ保守]に戻ります。

[保守 | 登録 | 選択登録]

図形を選択してボルト図形として登録します。シーケンスは次の通りです。

図形選択 ボルト図形として登録する図形を選択します。選択の操作方法は第 1 章を参照してください。図形を

選択して右ボタンをクリックすると[選択確認]へ進みます。

選択確認

[選択確認]ダイアログが開きます。操作は次の通りです。

- [OK] …………… [基準点]へ進みます。
- [選択解除] …… 選択を解除して[図形選択]へ戻ります。
- [キャンセル] ……… [図形選択]へ戻ります。
- [選択中止] …… [ボルト図形マスタ保守]へ戻ります。

基準点

[保守|登録|全図登録]を参照してください。

登録

[保守|登録|全図登録]を参照してください。登録すると[図形選択]に戻り次の図形を選択することができます。

[保守 | 登録 | 型紙登録]

型紙を切り出してボルト図形として登録します。シーケンスは次の通りです。

型紙作成

ボルト図形として登録する型紙の型線を作成します。型線の作成方法は第1章を参照してください。型線を作成して右ボタンをクリックすると[作図方法]へ進みます。

作図方法

[作図方法]ダイアログが開きますので型紙の作図方法を指定します。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

型線の作図

型線の作図方法を指定します。

- 型線は作図しない
- 型線は作図しません。

図面の通り

図面に作図されている通りの線属性で型線を作図します。コーナー指示で作成した型線はカレント線属性で作図します。カレント線属性は割込みの[線属性]コマンドで指定します。

線属性を指定する

下に表示されている線属性で型線を作図します。線属性を選択するには表示されている線属性をダブルクリックするか右側の[...]をクリックしてください。

- [OK] …………… [基準点]へ進みます。
- [型線解除] …… 型線を解除して[型紙作成]へ戻ります。
- [キャンセル] ……… [型紙作成]へ戻ります。

基準点

[保守|登録|全図登録]を参照してください。

登録

[保守|登録|全図登録]を参照してください。登録すると[型紙作成]に戻り次の型線を作成することができます。

[保守 | 削除]

選択しているボルト図形をボルト図形マスタから削除します。

[保守 | 名前変更]

選択しているボルト図形の名前を変更します。[名前変更]ダイアログが開きますので新しい名前を入力してください。既に登録されている名前と同じ名前を指定することはできません。

[保守 | ファイルの圧縮]

ボルト図形の登録や削除を繰り返すとボルト図形マスタの中に使用されていない部分が残ることがあります。[ファイルの圧縮]はボルト図形マスタ全体を作成し直して無駄な領域を無くしファイルを圧縮する処理です。ファイルを圧縮することでファイルのサイズが小さくなるだけでなく、ボルト図形の読み込みなどが速くなることがあります。また、ボルト図形マスタに障害が発生した場合にも復旧できる可能性もあります。

コマンドを選択して[確認]ダイアログで〔OK〕すると圧縮が始まります。圧縮が完了すると圧縮前のファイルサイズと圧縮後のファイルサイズが表示されますのでどれくらい圧縮されたかを確認することができます。

その他の操作

画面には表示されていませんが、その他に次の操作が可能です。

- | | |
|-------|---|
| ウィンドウ | [ボルト図形マスタ保守]ウィンドウの枠をマウスでドラッグするとウィンドウの大きさを変更することができます。 |
| 図形一覧 | 図形をダブルクリックすると[作図 複合視点]を実行します。マウスの左ボタンを押したまま移動すると選択する図形が変わりますので、右側のスクロールバーやキーボードの矢印キーを使わずに一覧をスクロールすることができます。 |
| 名前一覧 | 名前一覧の名前をダブルクリックするか右に表示されている図形をダブルクリックすると[作図 複合視点]を実行します。名前一覧と図形表示の間の縦線をマウスでドラッグすると横幅を変更することができます。 |

鉄骨マスタ管理

鉄骨マスタ

鉄骨マスタファイルの管理(複写・削除・インストールなど)を行います。

鉄骨マスタファイルは汎用コマンドの[ファイル管理|ファイル管理]で管理することもできますが、[鉄骨マスタ管理]は鉄骨マスタを管理するために専用化されたコマンドです。

シーケンスはありません。コマンドを選択すると[鉄骨マスタ管理]ダイアログが開きます。

[鉄骨マスタ管理]ダイアログ

管理機能ごとにページに別れています。ここではページごとに説明します。[閉じる]でコマンドを終了します。

マスタの複写

鉄骨マスタを複写します。ページの内容と操作は次の通りです。

複写元の場所： 複写する鉄骨マスタの場所を指定します。場所を変更するには場所の表示をダブルクリックするか右側の[...]をクリックしてください。[複写元の場所]ダイアログが開いて場所を指定することができます。[複写元の場所]ダイアログの操作は[鋼材マスタ保守]の[マスタの場所]ダイアログを参照してください。

複写先の場所： 鉄骨マスタの複写先を指定します。場所を変更する方法は[複写元の場所]と同じです。

複写するマスタ： 複写するマスタを指定します。 鋼材マスタ 継手マスタ ボルトマスタ のうち、チェックされているマスタを複写します。ボルトマスタを指定するとボルト図形マスタとボルト配置マスタの両方を複写します。また、ボルトマスタは共通マスタ以外の場所へ複写しても意味はありません。マスタのバックアップなどに使用してください。

[OK] マスタを複写します。

マスタの削除

鉄骨マスタを削除します。ページの内容と操作は次の通りです。

削除するマスタの場所： 削除する鉄骨マスタの場所を指定します。場所を変更するには場所の表示をダブルクリックするか右側の[...]をクリックしてください。[削除するマスタの場所]ダイアログが開いて場所を指定することができます。[削除するマスタの場所]ダイアログの操作は[鋼材マスタ保守]の[マスタの場所]ダイアログを参照してください。

削除するマスタ： 削除するマスタを指定します。 鋼材マスタ 継手マスタ ボルトマスタ のうち、チェックされているマスタを複写します。ボルトマスタを指定するとボルト図形マスタとボルト配置マスタの両方を複写します。

[OK] マスタを削除します。

マスタ原本のインストール

鉄骨マスタの原本を共通マスタとしてインストールします。実際の処理は鉄骨マスタの原本すべて(鋼材マスタ・継手マスタ・ボルトマスタ)を共通マスタの場所にコピーするだけです。

マスタ原本をセットする場所： 鉄骨マスタ原本をセットする場所を指定します。場所を変更するには場所の表示をダブルクリックするか右側の[...]をクリックしてください。[マスタ原本をセットする場所]ダイアログが開いて場所を指定することができます。[マスタ原本をセットする場所]ダイアログの操作は「システムマニュアル」を参照してください。

[OK] マスタをインストールします。



第3章 メッセージ一覧

鉄骨マスタ

ここに示すメッセージは[鉄骨マスタ]メニュー以外の鉄骨関連のアプリケーションでも表示されることがあります。

スケールが入力されていません。

無効なデータがあります。

鋼材マスタがありません。

継手マスタがありません。

ボルトマスタがありません。

マスタのデータ数が多すぎるため読み込めません。最高～種までです。

[接頭]または[接尾]に無効な文字があります。～は使用できません。

これ以上ボルト配置を登録することはできません。

鉄骨マスタ